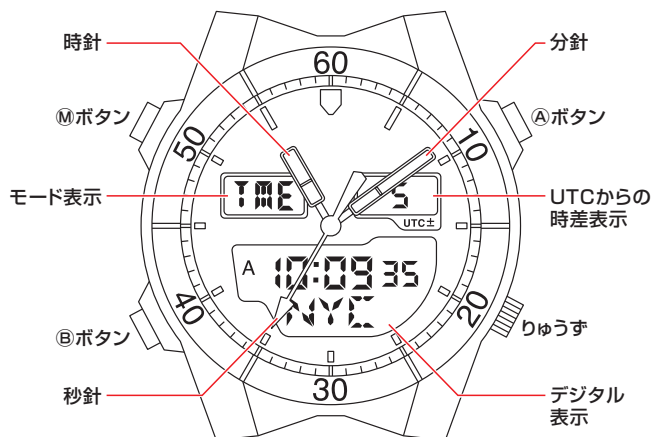


U040 簡易操作ガイド

各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

EL ライトを使う

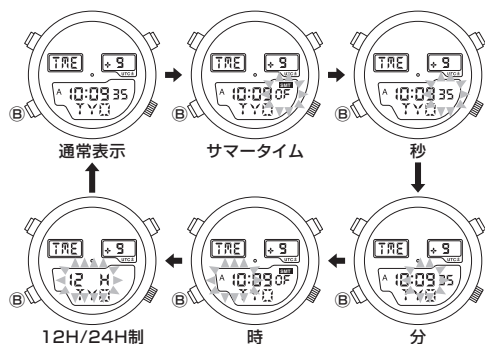
- 時刻モード、カレンダーモード、ゾーンセットモードで④ボタンを押すと、ELライトが点灯します。ボタンを押し続けている間、ELライトが点灯し続けます。
- クロノグラフ計測中に、⑥ボタンを押してスプリットタイムを取ったときや、④ボタンを押して計測をストップしたときも点灯します。

時刻を合わせる

デジタル表示の時刻を合わせる

・デジタル表示の時刻は、アナログの時刻(時針/分針)と連動していません。

- ⑤ボタンをくり返し押して、モードを[TME]にする
- ⑥ボタンをくり返し押して、都市名表示に「TYO」を表示させる
「TYO」以外を選んだときは、現地の時刻に合わせます。
- ⑥ボタンを2秒間以上押し続ける
「SMT」と、サマータイムの「ON」または「OF」が点滅して、設定できるようになります。
- ④ボタンを押して、サマータイムの「ON/OFF」を設定する
- ⑥ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
・⑥ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



6. ④ボタンを押して合わせる

- 秒の修正状態で④ボタンを押すと、秒が「00」に修正されます。30秒～59秒のときに④ボタンを押すと、「分」が1分増えます。
- ④ボタンを押し続けると表示が連続して変わります。
- 修正中、⑤ボタンを押すと中断できます。
- 修正途中で操作を行わないまま約2分間経過すると、自動で中断します。

7. 手順5、6をくり返し、他の対象を合わせる

8. ⑤ボタンを押して、終了する

アナログの時刻を合わせる

・アナログの時刻(時針/分針)は、デジタル表示の時刻と連動していません。

1. 秒針が0秒を指しているときに、りゅうずを引く

秒針が止まります。

2. りゅうずを回して、時刻を合わせる

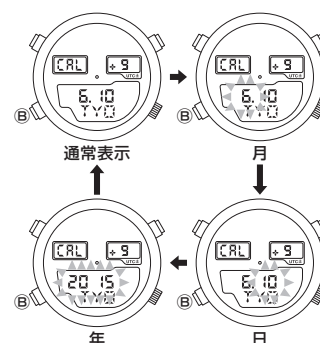
- 4～5分進めてから正しい時刻に戻すように合わせると、より正確に合わせられます。

3. 時報に合わせて、りゅうずを押し込む

カレンダーを合わせる

この時計のカレンダーは、うるう年を含む2099年12月31日まで、修正不要です。④ボタンを2秒以上押すごとに都市名と曜表示が切り替わります。

- ⑤ボタンをくり返し押して、モードを[CAL]にする
- ⑥ボタンをくり返し押して、都市名表示に「TYO」を表示させる
- ⑥ボタンを2秒間以上押す
「月」が点滅し、修正できるようになります。
- ④ボタンを押して、「月」を修正する
- ⑥ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
・⑥ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



6. ④ボタンを押して、修正する

- ④ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
- カレンダー合わせは、⑤ボタンを押すと中断できます。
- カレンダー合わせの途中で操作を行わないまま約2分間経過すると、自動的に通常表示に戻ります。

7. ⑤ボタンを押して、終了する

- 「曜」は自動で設定されます。

ワールドタイムを使う

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[TME]または[CAL]にする
2. **B** ボタンを押して、都市を選ぶ
選んだ都市の時刻またはカレンダーが表示されます。
 - ・ゾーンセット機能で、表示をOFFに設定した都市は表示されません。(「ゾーンセットモードを使う」をご参照ください)
 - ・**B** ボタンを押したまま**A** ボタンを押すと、呼び出し順序が逆になります。

都市名一覧

略称	都市名	時差	略称	都市名	時差
UTC	協定世界時	0	TYO	東京	+9
LON	ロンドン	0	SYD	シドニー	+10
PAR	パリ	+1	NOU	ヌーメア	+11
ROM	ローマ	+1	AKL	オークランド	+12
CAI	カイロ	+2	HNL	ホノルル	-10
IST	イスタンブール	+2	ANC	アンカレッジ	-9
MOW	モスクワ	+3	LAX	ロサンゼルス	-8
KWI	クウェート	+3	DEN	デンバー	-7
DXB	ドバイ	+4	CHI	シカゴ	-6
KHI	カラチ	+5	MEX	メキシコシティ	-6
DEL	ニューデリー	+5.5	NYC	ニューヨーク	-5
DAC	ダッカ	+6	YUL	モントリオール	-5
BKK	バンコク	+7	CCS	カラカス	-4
SIN	シンガポール	+8	RIO	リオデジャネイロ	-3
HKG	香港	+8	BUE	ブエノスアイレス	-3
PEK	北京	+8			

- ・一覧表の時差は、UTC(協定世界時)からの時差です。
- ・時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。

アラームを使う

デジタル表示の時刻に合わせて、アラームが約15秒間鳴ります。
・アラームは、「ALM1」または「ALM2」の2つの時刻を設定できます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[AL1]または[AL2]にする
現在設定されているアラーム時刻が表示されます。
2. **B** ボタンをくり返し押して、都市を選択する
3. **B** ボタンを2秒間以上押す
アラームの「時」が点滅します。
4. **A** ボタンを押して、「時」を設定する
 - ・午前と午後を間違えないように注意します。
 - ・**A** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
5. **B** ボタンを押す
アラームの「分」が点滅します。
6. **A** ボタンを押して、「分」を設定する
 - ・**A** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
 - ・アラームの設定は、**M** ボタンを押すと中断できます。
 - ・設定の途中で操作を行わないまま約2分間経過すると、自動的にアラーム通常表示に戻ります。
7. **M** ボタンを押して、終了する

アラームのONとOFを切り替える

アラームモードで**A** ボタンを押すごとに、ONとOFが切り替わります。

アラーム音をとめる

いずれかのボタンを押します。

アラーム音を確認する

「AL1」または「AL2」で**A** ボタンを押し続けると、アラーム音を確認することができます。

クロノグラフを使う

1/100秒単位、最大24時間まで計測できます。24時間を超えると、0時間0分0秒で停止します。
・クロノグラフ計測中は、他のモードへの切り替えても計測は継続されます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[CHR]にする
スタート / ストップ： **A** ボタンを押します。
リセット： ストップ中に、**B** ボタンを押します。
 - ・計測中に**B** ボタンを押すと、経過時間(スプリットタイム)が10秒間表示され、「SPL」が点滅します。

タイマーを使う

1分単位、最大60分のタイマーを設定することができます。
・モードに切り替えてもタイマーは継続されます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[TMR]にする
2. **B** ボタンを押して、タイマーの時間を設定する
 - ・**B** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
3. **A** ボタンを押す
スタート / ストップ： **A** ボタンを押します。
リセット： ストップ中に、**B** ボタンを押します。
 - ・タイマー作動中に**B** ボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンを始めます。

設定時間が過ぎると

タイムアップ音が、約5秒間鳴ります。
音を止めるには、いずれかのボタンを押します。

ゾーンセットモードを使う

この時計で表示できる30都市及びUTC(協定世界時)の中から、表示したい都市の選択と、各都市のサマータイムのセットができます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[SET]にする
2. **B** ボタンを押して、都市を選択する
3. **B** ボタンを2秒間以上押し続ける
「ON」または「OF」と、都市名が点滅します。
4. **A** ボタンを押して、選択した都市の表示を「ON」にする
 - ・**A** ボタンを押すごとに、「ON」と「OF」が切り替わります。
5. **B** ボタンを押す
「SMT」と「ON」または「OF」が点滅します。
6. **A** ボタンを押して、サマータイム「ON/OF」を選択する
2~6をくり返して、他の都市の表示の設定を行います。
7. **M** ボタンを押して、終了する
 - ・2分間以上ボタン操作をしないと、自動的に通常表示に戻ります。

オールリセットを行う

・動作中のクロノグラフやタイマーはリセットされます。

1. りゅうずを引き出す
2. **A**、**B**、**M** ボタンを同時に押す
3. りゅうずを押し込んで、終了する
 - ・確認音が鳴ります。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、時刻合わせ、カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。